

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報／詳しい情報)	炭疽, ウシー米国(ミネソタ) 投稿者: Terry Bolding, ミネソタ州動物保健局 ミネソタ州北西部での状況の更新。いままでにミネソタ州北西部で2例の炭疽症例が発生した。最初の例はRed Lake FallsとCrookstonの間のPolk 村で発生した。食肉用牧場で、50頭の牛のうち10頭が死亡した。2例目は、Roseau村南部で、食肉用牧場の560頭中5頭が死亡した。 (2005年7月30日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報／詳しい情報)	炭疽, ウシー米国(ミネソタ) ミネソタでの流行は終息したようである。5牧場での流行の詳細を記載。 (2005年9月9日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報／詳しい情報)	炭疽-米国(モンタナ州) 情報源: Dr. Thomas Linfield. 今回の流行に関して、問題の牧場では、8月28日～30日ごろに最初のウシ1頭が死亡し、次いで9月4日～5日に8頭が死亡した。9月10日までは新たな症例は発生しなかったが、その後新たな死亡例が発生した。総計でウシ37頭が死亡したとされる。感染源は確認されていない。 (2005年9月19日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報／詳しい情報)	炭疽, ウシー米国(モンタナ州) ・情報源: Washington Post, USA, 9月16日。 モンタナ州北東部の牧場で、炭疽によりウシ37頭が死亡したが、問題の牧場は現在隔離されている、と州獣医官が9月15日に明らかにした。 ・情報源: Cattlenetwork.com (AP), 9月16日。 モンタナ州北東部の牧場で、炭疽によりウシ37頭が死亡し、今後新たな症例が発生してもおかしくないと、と州獣医官が9月15日に述べた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	BSE, ウシ-米国: 疑い ・情報源: MSNBC上のライター記事, 6月11日。米国産のウシでBSE検査が陽性となり, さらなる追加検査が結果を確定するためにイギリスの検査室で実施されるとUSDAが公表した。 < http://msnbc.msn.com/id/8182017 > ・情報源: MSNBC上のAP記事, 6月11日。 BSEの感染経路やBSEの特徴, 検査法や政府対策などに関する一般視聴者向けの良くなる質問集。 < http://msnbc.msn.com/id/8182290 >
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	Alert Messages 米国におけるBSE: (米国における前回のBSE症例がOIEに報告された日時: 2003年12月(輸入動物)) 報告日: 2005年6月27日 2004年11月に迅速スクリーニング検査で検討された際にはBSEと診断確定できなかった歩行困難なウシが, 2005年6月に英国WeybridgeにあるOIEのBSE委託研究所でウエスタンプロット法と免疫化学法を用いて陽性と確認された。歩行困難な個体として, 問題のウシはヒトの食糧連鎖から排除されている。死
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	BSE, ウシ-米国 情報源: USDA記者発表, 6月29日。 米国農務省(USDA)主任獣医官John Clifford氏による声明。「2005年6月第4週, BSE検査陽性と同定された動物が飼育されていた個体集団(群)がDNA検査により同定された。飼い主から当局が入手した情報に基づいて, このウシはテキサス州内で飼育されている集団で生育し, 年齢が約12才前後であったことが確認された。問題のウシは, テキサス州のペットフード工場へ送られ, 到着時に抜き取り検査検体として選択された。」
											BSE	FDA News	米FDA, BSEに関する調査の結果を報告 米農務省(USDA)の動植物衛生検査部(APHIS)およびFDAは, 2005年6月に牛海綿状脳症(BSE)に検査陽性となったウシに関する調査を完了した。本症例はテキサスの牧場で生まれ育ち, 死亡当時は約12才で, 1997年の飼料禁止令の実施以前に生まれていた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	・BSE最新状況, 2005年, 米国: 3例目 発生の疑い, 情報源: Reuters alertnet, 7月27日。 米国農務省は7月27日, BSEが疑われ ている12才令のウシが, 米国で3例目の BSE症例であるか確認するため, 再検 査される予定であると発表した。農務省 Clifford主任獣医官は, 2005年4月出産 に伴う合併症で死んだ後処分された感 染疑いウシが, BSEスクリーニング検査 で陰性と確定できない検査結果が出て いたことを明らかにした。
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	BSE-米国: 否定 情報源: APHISニュース Deputy administrator Animal & Plant Health Inspection Service発表 2005年8月3日, アイオワ州Amesにある U.S. Department of Agriculture's National Veterinary Services Laboratories (NVSL) は, 2005年7月27 日の報告した中間検査の結果, BSE陰 性であると発表した。
											ウシ膿ほう性口 内炎ウイルス感 染	OIE/World animal health situation/ Weekly information/ by date	Disease Information 2005年9月30日号 Vol.18 No.39 米国における水疱性口内炎-Follow- up report No. 18: 今回報告終了日-2005年9月28日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタ イプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4 月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16 日 新規アウトブレイクの詳細 -Colorado州Alamosa郡, Delta郡の農 場(2世)
											ウシ膿ほう性口 内炎ウイルス感 染	OIE/World animal health situation/ Weekly information/ by date	Disease Information 2005年10月7日号 Vol.18 No.40 米国における水疱性口内炎-Follow- up report No. 19: 今回報告終了日-2005年10月2日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタ イプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4 月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16 日 -Colorado州Delta郡, Mesa郡の農場 (2件)(アウトブレイクの開始日2005年9 月5日, 2005年9月19日)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報／詳しい情報)	水疱性口内炎、ウマ&ウシー米国(ネブラスカ州) 情報源:米国農務省新聞発表。 2005年10月4日、ニューヨーク州Plum Islandの外來性動物疾患診断研究所は、ネブラスカ州Scotts Bluff郡にある施設で飼育されていたウシ3頭で、初の水疱性口内炎New Jersey 株(VS-NJ)感染症例を確認した。VS-NJウイルスは、発病した成牛3頭からの検体から分離された。
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation / Weekly information / by date	Disease Information 2005年10月14日号Vol.18 No.41 米国における水疱性口内炎—Follow-up report No. 20: 今回報告終了日—2005年10月9日 病因の同定—水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日—2005年4月27日 アウトブレイクの開始日—2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 —Colorado州Mesa郡, Montezuma郡, Ouray郡の農場(3件)(アウトブレイクの開始日2005年4月)
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation / Weekly information / by date	Disease Information 2005年10月21日号Vol.18 No.42 米国における水疱性口内炎—Follow-up report No. 21: 今回報告終了日—2005年10月16日 病因の同定—水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日—2005年4月27日 アウトブレイクの開始日—2005年4月16日 新規アウトブレイク —Wyoming州Bighorn郡Lovellの農場(アウトブレイクの開始日2005年10月9日): ウマに於いて疑いあり。等

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/11/24	50716	セローノ・ジャパン株式会社	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	乳糖	ウシ	英国及びポルトガルを除く	添加物	有	無	無	ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information/by date	Disease Information 2005年7月1日号 Vol.18 No.26 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No.8: 今回報告終了日-2005年6月26日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの発生日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの概要 -Arizona州Navajo郡Taylorの農場(アウトブレイクの発生日:2005年6月13日) ウシにおいて疑い例1例、症例1例 Disease Information 2005年7月15日号 Vol.18 No.28 米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 10: 今回報告終了日-2005年7月10日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 アウトブレイクの詳細 -Colorado州Delta郡Deltaの農場(アウトブレイクの開始日2005年6月28日):ウシにおいて疑い例1例、症例1例 Disease Information 2005年7月29日号 Vol.18 No.30 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 11: 今回報告終了日-2005年7月24日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 -Arizona州Yavapai郡の農場(2件):ウシにおいて疑い例25例、症例2例、ウシにおいて疑い例1例、症例1例
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information/by date	
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information/by date	

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information /by date	Disease Information 2005年8月5日号 Vol.18 No.31 米国における水疱性口内炎—Follow-up report No. 12: 今回報告終了日—2005年7月31日 病因の同定—水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日—2005年4月27日 アウトブレイクの開始日—2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細—Colorado州Mesa郡の農場(3件):ウマにおいて疑い例2例, 症例2例, ウシにおいて疑い例1例, 症例1例 等 Disease Information 2005年8月19日号 Vol.18 No.33
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information /by date	米国における水疱性口内炎—Follow-up report No. 13: 今回報告終了日—2005年8月14日 病因の同定—水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日—2005年4月27日 アウトブレイクの開始日—2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細—Colorado(以下C)州Archuleta郡の農場(1件):ウマ(疑い例4例, 症例2例) 等
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information /by date	Disease Information 2005年8月26日号 Vol.18 No.34 米国における水疱性口内炎—Follow-up report No. 14: 今回報告終了日—2005年8月21日 病因の同定—水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日—2005年4月27日 アウトブレイクの開始日—2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細—Colorado州Delta郡の農場(2件):ウマにおいて疑い例1例, 症例1例, ウシにおいて疑い例2例, 症例1例 等

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/ Weekly information / by date	Disease Information 2005年9月2日号 Vol.18 No.35 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 15: 今回報告終了日-2005年8月28日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 -Colorado州Delta郡の農場(6件):ウマにおいて疑い例26例, 症例6例, ウシにおいて疑い例67例, 症例2例 等
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/ Weekly information / by date	Disease Information 2005年9月16日号 Vol.18 No.37 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 16: 今回報告終了日-2005年9月11日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 -Colorado州Delta郡, Mesa郡, Moffatt郡, Montezuma郡, Montrose郡, Ouray郡 等
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/ Weekly information / by date	Disease Information 2005年9月23日号 Vol.18 No.38 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 17: 今回報告終了日-2005年9月20日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 -Colorado州Delta郡, Montezuma郡, Routt郡の農場(4件)(アウトブレイクの開始日2005年8月17日)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information/by date	Disease Information 2005年9月30日号 Vol.18 No.39 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 18: 今回報告終了日-2005年9月28日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 -Colorado州Alamosa郡, Delta郡の農場(3件)(アウトブレイクの開始日2005年9月5日~2005年9月19日)
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information/by date	Disease Information 2005年10月7日号 Vol.18 No.40 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 19: 今回報告終了日-2005年10月2日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 -Colorado州Delta郡, Mesa郡の農場(2件)(アウトブレイクの開始日2005年9月5日, 2005年9月19日):ウマにおいて
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, シカ科Cervidae, 家畜-米国(テキサス州) 情報源:テキサス州動物衛生委員会公式ニュース広報, 7月6日。 テキサス州Sutton郡の飼育場2カ所でウマ, シカ, ウシの炭疽感染患畜が検査室診断確定され, 家畜やシカの喪失が報告された同郡内その他の場所数カ所の検査室診断結果は検査中である。 (2005年7月9日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, ウシー-米国(ノースダコタ州) 情報源:米国In-Forum, Fargo, 7月7日。 炭疽検知のため当局が2つのウシ集団を隔離。ノースダコタ州南東部Ransom郡Sheyenne峡谷のウシ集団で炭疽が発見され, 診断がノースダコタ州立大学で確定したことを報じる当局者のコメントなど。 (2005年7月10日掲載)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, ウシー米国(ノースダコタ州) 情報源: The Horse.com. 2005年7月14日時点で、ノースダコタ州南東部にある11施設で、バイソン(野牛)、ウシおよびウマでの炭疽症例が確認されている。今回の流行では、家畜約30~35頭が炭疽に感染した。全症例がRansomおよびBarnes郡で発生した。(2005年7月19日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, ウシー米国(ノースダコタ州) ・投稿者: Susan J. Keller, DVM(ノースダコタ州獣医官)。 ノースダコタ州当局は現在、8郡内の56施設で炭疽症例を確認している。今年の夏季中に炭疽により死亡した家畜の頭数はまだ明らかになっていないが、現時点で200頭を越えていると推測している。症例が発生している種は、ウシ、ウマ、バイソン、飼育されているシカ類、ヒツジ、ラマである。 ・投稿者: Dr. Neil Dyer(ノースダコタ州立大学獣医学診断研究所) 炭疽, バイソン, ウシー米国(サウスダコタ州) ・情報源: サウスダコタ州獣医官Dr Sam Holland獣医学博士記者発表, 7月21日。 州獣医官はサウスダコタ州Northwestern Sully郡の牧草地で大型バッファロー[Plains Bison]と家畜の間で炭疽が発生したと報告した。2005年7月20日州獣医官が臨床検体を採取し検査室に持ち帰り、診断は7月21日に確定 炭疽, バイソン, ウシー米国(South Dakota) 情報源: Principles and Practice of Infectious Diseases Online, 6th edition 州獣医官Sam Hollandから提供されたデータおよび情報。流行の始まりに気づいたのは、660頭の牛とバイソンの群れが7月18日に死亡しているのが最初で、7月20日に流行が確認された。それ以後155頭が死亡した。 (2005年7月30日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, ウシー米国(ノースダコタ州) ・投稿者: Susan J. Keller, DVM(ノースダコタ州獣医官)。 ノースダコタ州当局は現在、8郡内の56施設で炭疽症例を確認している。今年の夏季中に炭疽により死亡した家畜の頭数はまだ明らかになっていないが、現時点で200頭を越えていると推測している。症例が発生している種は、ウシ、ウマ、バイソン、飼育されているシカ類、ヒツジ、ラマである。 ・投稿者: Dr. Neil Dyer(ノースダコタ州立大学獣医学診断研究所) 炭疽, バイソン, ウシー米国(サウスダコタ州) ・情報源: サウスダコタ州獣医官Dr Sam Holland獣医学博士記者発表, 7月21日。 州獣医官はサウスダコタ州Northwestern Sully郡の牧草地で大型バッファロー[Plains Bison]と家畜の間で炭疽が発生したと報告した。2005年7月20日州獣医官が臨床検体を採取し検査室に持ち帰り、診断は7月21日に確定 炭疽, バイソン, ウシー米国(South Dakota) 情報源: Principles and Practice of Infectious Diseases Online, 6th edition 州獣医官Sam Hollandから提供されたデータおよび情報。流行の始まりに気づいたのは、660頭の牛とバイソンの群れが7月18日に死亡しているのが最初で、7月20日に流行が確認された。それ以後155頭が死亡した。 (2005年7月30日掲載)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, バイソン, ウシ-米国(サウスダコタ州) 投稿者: Sam Holland (DVM, サウスダコタ州獣医官)。 2005年7月18日にバイソン(野牛)と肉牛の群れで炭疽症例が診断されて、今年の炭疽シーズンが始まった。これまでに、検査により37群で炭疽症例が診断されている。炭疽による死亡頭数は野牛, 肉牛合わせて330頭に達した。サウスダコタ州の炭疽症例発生マップが掲載されたウェブサイトの紹介 (http://www.state.sd.us/aib)など。 (2005年8月18日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, ウシ-米国(ミネソタ) 投稿者: Terry Bolding, ミネソタ州動物保健局 ミネソタ州北西部での状況の更新。いままではミネソタ州北西部で2例の炭疽症例が発生した。最初の例はRed Lake FallsとCrookstonの間のPolk 村で発生した。食肉用牧場で、50頭の牛のうち10頭が死亡した。2例目は、Roseau村南部で、食肉用牧場の560頭中5頭が死亡した。 (2005年7月30日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, ウシ-米国(ミネソタ) ミネソタでの流行は終息したようである。5牧場での流行の詳細を記載。 (2005年9月9日掲載)
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽-米国(モンタナ州) 情報源: Dr. Thomas Linfield。 今回の流行に関して、問題の牧場では、8月28日~30日ごろに最初のウシ1頭が死亡し、次いで9月4日~5日に8頭が死亡した。9月10日までは新たな症例は発生しなかったが、その後新たな死亡例が発生した。総計でウシ37頭が死亡したとされる。感染源は確認されていない。 (2005年9月18日掲載)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	炭疽, ウシー米国(モンタナ州) ・情報源: Washington Post, USA, 9月16日。 モンタナ州北東部の牧場で, 炭疽によりウシ37頭が死亡したが, 問題の牧場は現在隔離されている, と州獣医官が9月15日に明らかにした。 ・情報源: CattleNetwork.com (AP), 9月16日。 モンタナ州北東部の牧場で, 炭疽によりウシ37頭が死亡し, 今後新たな症例が発生してもおかしくないと, と州獣医官が9月15日に述べた。
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	BSE, ウシー米国: 疑い ・情報源: MSNBC上のロイター記事, 6月11日。米国産のウシでBSE検査が陽性となり, さらなる追加検査が結果を確定するためにイギリスの検査室で実施されるとUSDAが公表した。 < http://msnbc.msn.com/id/8182017 > ・情報源: MSNBC上のAP記事, 6月11日。 BSEの感染経路やBSEの特徴, 検査法や政府対策などに関する一般視聴者向けの良くなる質問集。 < http://msnbc.msn.com/id/8183299 >
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	BSE, ウシー米国 ・情報源: USDA記者室発表No. 0232.05, 6月24日。 農業書記官は2005年6月24日, 米国農務省(USDA)がイギリスWeybridge(国際BSE委託検査室である)獣医学検査室(VLA)より, 2004年11月に食用供給から外された動物検体が牛海綿状脳症(BSE)検査陽性であるとの最終検査結果を受領したことを公表した。
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	Alert Messages 米国におけるBSE: (米国における前回のBSE症例がOIEに報告された日時: 2003年12月(輸入動物)) 報告日: 2005年6月27日 2004年11月に迅速スクリーニング検査で検討された際にはBSEと診断確定できなかった歩行困難なウシが, 2005年6月に英国WeybridgeにあるOIEのBSE委託研究所でウエスタンプロット法と免疫化学法を用いて陽性と確認された。歩行困難な個体として, 問題のウシはヒトの食糧連鎖から除外されている。死

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	BSE、ウシー米国 情報源: USDA記者発表, 6月29日。 米国農務省(USDA)主任獣医官John Clifford氏による声明。「2005年6月第4週, BSE検査陽性と同定された動物が飼育されていた個体集団(群)がDNA検査により同定された。飼い主から当局が入手した情報に基づいて, このウシはテキサス州内で飼育されている集団で生育し, 年齢が約12才前後であったことが確認された。問題のウシは, テキサス州のペットフード工場へ送られ, 到着時に抜き取り検査検体として選択された。」
											BSE	FDA News	米FDA, BSEに関する調査の結果を報告 米農務省(USDA)の動植物衛生検査部(APHIS)およびFDAは, 2005年6月に牛海綿状脳症(BSE)に検査陽性となったウシに関する調査を完了した。本症例はテキサスの牧場で生まれ育ち, 死亡当時は約12才で, 1997年の飼料禁止令の実施以前に生まれていた。2004年11月に家畜販売業者を介して販売され, 食品加工工場に輸送されたが, 到着時に死亡しており, その後BSE検査が行われたペットフード工場に輸送され, 使用された。2004年11日に死骸が処分され, BSE最新状況, 2005年, 米国: 3例目発生の疑い, 情報源: Reuters alertnet, 7月27日。
											BSE	ProMED情報 (厚生労働省検疫所 海外感染症情報/詳しい情報)	米国農務省は7月27日, BSEが疑われている12才令のウシが, 米国で3例目のBSE症例であるか確認するため, 再検査される予定であると発表した。農務省Clifford主任獣医官は, 2005年4月出産に伴う合併症で死んだ後処分された感染疑いウシが, BSEスクリーニング検査で陰性と確定できない検査結果が出ていることを明らかにした。 BSE—米国: 否定 情報源: APHISニュース Deputy administrator Animal & Plant Health Inspection Service発表 2005年8月3日, アイオワ州AmesにあるU.S. Department of Agriculture's National Veterinary Services Laboratories(NVSL)は, 2005年7月27日の報告した中間検査の結果, BSE陰性であると発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information /by date	Disease Information 2005年9月30日号 Vol.18 No.39 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 18: 今回報告終了日-2005年9月28日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 -Colorado州Alamosa郡, Delta郡の農場(3件)(アウトブレイクの開始日2005年9月9日~2005年9月18日) 水疱性口内炎, ウマ&ウシ-米国(ネブラスカ州) 情報源: 米国農務省新聞発表。 2005年10月4日, ニューヨーク州Plum Islandの外来性動物疾患診断研究所は, ネブラスカ州Scotts Bluff郡にある施設で飼育されていたウシ3頭で, 初の水疱性口内炎New Jersey 株(VS-NJ)感染症例を確認した。VS-NJウイルスは, 発病した成牛3頭からの検体から分離された。これらの個体は, 2005年ネブラスカ州で最初の水疱性口内炎症例である。
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	ProMED情報(厚生労働省検疫所海外感染症情報/詳しい情報)	情報源: 米国農務省新聞発表。 2005年10月4日, ニューヨーク州Plum Islandの外来性動物疾患診断研究所は, ネブラスカ州Scotts Bluff郡にある施設で飼育されていたウシ3頭で, 初の水疱性口内炎New Jersey 株(VS-NJ)感染症例を確認した。VS-NJウイルスは, 発病した成牛3頭からの検体から分離された。これらの個体は, 2005年ネブラスカ州で最初の水疱性口内炎症例である。
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE/World animal health situation/Weekly information /by date	Disease Information 2005年10月14日号 Vol.18 No.41 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 20: 今回報告終了日-2005年10月9日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイクの詳細 -Colorado州Mesa郡, Montezuma郡, Ouray郡の農場(3件)(アウトブレイクの開始日2005年9月18日)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/11/24	50717	塩野義製薬株式会社	インターフェロンガンマ-1a(遺伝子組換え)	リゾチーム	ニワトリ卵白	アメリカ	製造工程	有	無	無	ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染 トリインフルエンザ トリインフルエンザ トリインフルエンザ	OIE/World animal health situation/Weekly information / by date WHO inter-country Consultation InfuENZA A/H5N1 in Humans in Asia Manila May 6-7 2005 OIEホームページ (http://www.oie.int/eng/info/hebdo/AIS_64.HTM#Sec2.) J of Infectious Disease 2005;192:1318-22	Disease Information 2005年10月21日号Vol.18 No.42 米国における水疱性口内炎-Follow-up report No. 21: 今回報告終了日-2005年10月16日 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey アウトブレイクの初回確定日-2005年4月27日 アウトブレイクの開始日-2005年4月16日 新規アウトブレイク -Wyoming州Bighorn郡Lovellの農場(アウトブレイクの開始日2005年10月9日): 内マに於いて既に同様のH5N1型鳥インフルエンザウイルスがヒトに対する感染性をより高めている可能性が示唆される報告。2005年1月~4月にベトナム北部でH5N1型感染が発生した。しかし、本ウイルスは2004年にアジアの他の地域、及びベトナム南部で発生したものといくつかの点で相違があった。北部では南部と比べて、群発数の増加、群発内の最初と最後の症例間隔の延長、無症候性感染の発現、感染年齢層の拡大、及び死亡例の減少などがあった。 2005年6月27日に日本で低病原性鳥インフルエンザ(H5N2)が流行した報告。 低病原性鳥インフルエンザ(H7N3)がトリからヒトへ感染する可能性があることを示唆する報告。1999~2003年にイタリア北部の延べ6地域で起きた家禽のインフルエンザ(H7N1)とLPAI H7N3の流行中又は後に飼育所の作業員983名の血液中の抗体を調査した結果、2001年までは抗体は見つからなかったが2002年-03年には185名中7名(約4%)に抗体が見られた。